

②令和3年度の認知症関連事業の取組の評価

- ・外部の人を集めての活動はコロナに影響された。予定がスムーズにいかない中で参加の増えたカフェ等もあった。広く活動できたらよい。カフェも1カ所増えたのは良いこと
- ・認知症サポーター養成講座に興味があったが、コロナの不安があり行けなかった。講座のチラシに具体的な内容の紹介があればわかりやすい。
- ・よく頑張っていると思う。リアルの講座ができないのは仕方ない。ZOOMの活用は良いと思う。
- ・マグネットステッカーを貼るぐらいしか協力できなかった。この活動は徐々に広げていけばよい。この地域はコミュニティで見守りをよくしてくれている。ご近所に鍵を預けるなどもされている。孤独死であっても発見が早い場合が多い。
- ・小学生がサポーター養成講座を受けると家に帰って親に話したりする。
- ・在介職員のチラシ（所属名、職員フルネーム、顔写真入り）を訪問時不在の場合にポストに入れておくと、折り返し（TEL）が増えた。「私、元気なのに何で来るの？」と聞かれることがある。
- ・サポーター、警察、消防の連携で見守りをお願いしたい。
- ・独居高齢者の実態把握⇒実態把握率等、数字で評価をしてはどうか
- ・アルツハイマー月間の啓発は続けよう。
- ・認知症サポーター養成講座：高校生にも
- ・図書館とのコラボ：地域局の図書室とも連携を
- ・行政放送の寸劇：わかりやすかったので、継続を
- ・見守りネットワークも行き過ぎたら困る。認知症本人の意見を十分に聴いて支援することが大事とNHKの番組で特集あり。

③R4年度 アルツハイマー月間 認知症を知るコーナー展示内容

- ・認知症本人の声を集めたい。集会に行くと、「ありや、認知症じゃな」「ぼけとるな」等の言葉を小耳にはさむのがつらいという当事者の声があった。
- ・認知症本人の声を集めて、掲示する。家族の声、支援者の声も
- ・ツイッターなど、やりすぎなくらい発信したらよい。
- ・R3作成のDVDのリポート、当時者のインタビュー等ができれば（再現でもよいか）
- ・幟、オレンジの風船、ロバマスコット、職員はオレンジポロ
- ・認知症のイメージ
- ・認知症カフェ、どんなところ？どんな雰囲気？
- ・警察署とのコラボ：特殊詐欺、防犯
- ・展示を巡るスタンプラリー⇒ロバマスコットプレゼント
- ・ケアパスのもの忘れチェック＋相談（包括職員＋キャラバンメイト・委員、時間交代制）
- ・城南高校デザイン科へアルツハイマー月間の啓発ポスター募集
- ・市内の学生に介護に興味を持ってもらえるように

認知症の人と話してみたら…

やりたいこと

楽しいなこと

困ること、気になること